



校長だより

令和8年4月10日 第3号

「共創」で輝く生徒の育成

本校では、「共創で輝く生徒の育成—協働と相互尊重を基盤に—」を教育の柱として取り組んでおります。共創とは、多様な人々と力を合わせ、新しい価値を生み出していく考え方です。変化の激しい現代社会においては、一人で課題を解決するのではなく、互いの知恵や経験を持ち寄り、より良い答えを見いだしていく力が求められています。

その基盤となるのが、コミュニケーション能力です。相手の背景や考え方を尊重しながら意見の意図を理解すること、自分の考えを分かりやすく表現すること、そして相手の話に真摯に耳を傾ける姿勢を育てていきます。こうした力は、学習だけでなく日常生活においても欠かすことのできない大切な資質です。

また、共創を進める上では、問題発見・解決能力も重要です。漠然とした課題を具体的に捉え、多角的な視点から解決策を考える力、そして状況に応じて柔軟に対応する力を育成していきます。子どもたちが試行錯誤を重ねながら最適な答えに近づいていく過程そのものを、私たちは大切にしています。

さらに、協調性やリーダーシップも欠かせません。仲間と協力しながら自分の役割を果たすこと、共通の目標に向かって取り組む意識を高めること、そして互いの意見を引き出し合いながら活動を前に進める力を育ててまいります。

ここで大切にしているのは、「一緒にやる」ことにとどまらず、「共に価値を生み出す」学びです。意見の違いを積極的に出し合い、対話を通して考えを深めることで、より良い解決策へとつなげていきます。そのために、話し合いの質を高めるルールや対話のスキルについても丁寧に指導してまいります。

一方で、共創には失敗や葛藤が伴います。しかし本校では、それらを否定的に捉えるのではなく、「成長の材料」「考えを深める機会」として前向きに捉えることを重視しています。振り返りや評価の工夫を通して、困難に直面しても粘り強く取り組む、しなやかな心を育てていきます。

加えて、教師自身も共創の当事者であるという意識を大切にしています。教職員同士が協働し、学年や分掌を越えて対話を重ねるとともに、生徒の声を教育活動の改善に生かしてまいります。教師が共に学び合う姿は、子どもたちにとって何よりの手本となると考えています。

今後も本校では、相互尊重を土台とし、対話と挑戦を大切にした教育活動を通して、共に価値を創り出す力を育ててまいります。

